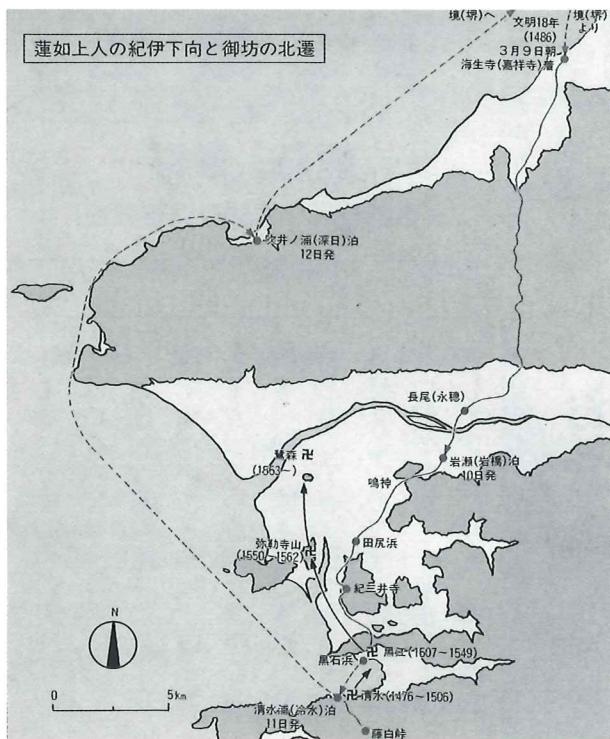


「蓮如上人と紀州」 金龍 静

蓮如上人の紀伊下向と御坊の北遷



本願寺第八代蓮如上人（一四一五）一四九九）は、千数百年の日本佛教史の流れのなかで、はじめで、師匠（善知識）ではなくご本尊に結集すべし、ご本尊に

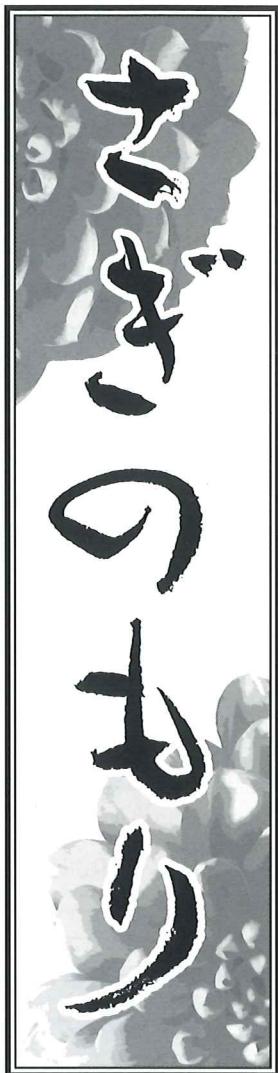
の常住する道場・寺院に結集すべし、そして、師恩ではなく仏恩を談すべし、と提言された方です。その提言に対しても多くの反発が

報恩感謝の意識で行動

紀州でも、冷水の了賢や永穂の権守らが、まつ先に蓮如上人の教えに隨順し、地元で同心の輪を広げ出しました。

次の第九代実如上人のころになると、和泉の興正寺系の有力本寺が、本格的に紀州の地の教化へと向かい、一向宗は急速に拡大し、根づいて行きました。紀州門徒・

生じましたが、その一方で、多くの賛同も沸きおこり、ここに一向宗（真宗の古称）という宗派の誕生を見ることとなりました。



題字 宮本 龍勝氏

発行 和歌山教区基督教運動推進委員会
編集 和歌山市鷺森1番地
鷺森別院内
電話 和歌山(073)422-4677
FAX 和歌山(073)428-2450
発行人 岩本 孝樹



【筆者紹介】

きんりゅう・しづか／一九四九年、北海道に生まれる。一九七六年、名古屋大学大学院博士課程退学。専攻II戦国期真宗史・一向一揆論。現在、本願寺史料研究所副主幹・龍谷大学文学部非常勤講師。北海道樺戸郡新十津川町・円満寺住職。

この度和歌山教区での講演を終えた後、ここ鷺森の地に立ち、石山合戦を支え続けた皆さま方の先祖に対し、謝意を表すべきだった、とそう思いました。遅ればせながら、今この紙面を借りて、深く頭を下げさせていただきます。

今号から大幅に紙面を刷新しました。ご意見・投稿をどしどしお寄せ下さい。

紙面を刷新

近ごろ「お念佛の声が聞こえてこない」という話を耳にすることがあります。これは他人を批判して「お念佛をみんなが称えなくなつた」ということを言いたいようです。

考えてみると、私たちは阿弥陀さまのみ教えに帰依し、お寺やお仏壇の前では熱心にお念佛を称える生活をしていました。だが一方、世間的な生活では、占いや迷信などにとらわれて、お念佛を忘れた生活をしているのではないでしょうか。そのことを忘れて、ただこのごろはお念佛の声が聞

こえないとまわりの責任にしてはいないでしょう。

お念佛は阿弥陀さまのよび声です。いつも私によびかけて下さっている声なき声なのです。阿弥陀さまの智慧の光明と申しても、私たちの眼には見えないのです。現代のように何でも科学で解決しようとして、眼に見え、体で触れ

鷺森テレホン

紙上法話

飯島 憲彬

(京都教区 本願寺派布教使)

こえないとまわりの責任にしてはいないでしょう。

お念佛は阿弥陀さまのよび声です。いつも私によびかけて下さっている声なき声なのです。

阿弥陀さまの智慧の光明と申しても、私たちの眼には見えないのです。現代のよ

うに何でも科学で解決しようとして、眼に見え、体で触れ

て確かめられるものだけを真

のものだと考えていては、心の、精神の安らかなよりどころはないのです。信心のかえり名として「ご安心」という言葉が使われています。蓮如上

人は「安心」を「やすきころ」と言っています。「お前を救うぞ」という阿弥陀さまのお心をいただいたときの安

らかな心、いただく心である

から、「ご」を付けて「ご安心」

を救うぞ」という阿弥陀さまのお心をいただいたときの安

らかな心、いただく心である

から、「ご」を付けて「ご安心」

お念佛は阿弥陀さまのよび声

から、「ご」を付けて「ご安心」

ですから、いつもお念佛を称えつつ、お念佛とともに一瞬一瞬を安らかな心で、大切に生き抜いて行こうではありますか。

南無阿弥陀仏

24時間いつでもどこからでも3分間法話が聞けます。

(法話は毎月一日・十五日に変わります)

鷺森テレホン 話

073-422-0243

おにしさん



2004年度

和歌山教区基幹運動計画

1. 目標

標

2. スローガン

「念仏の声を世界に
御同朋の社会をめざして

「子や孫に
おかげさまで ありがとう

3. 基本方針

「基幹運動（門信徒会運動・同朋運動）は、教団や社会の現状から目をそむけず、み教えに問い合わせながら、同朋教団の再生・御同朋の社会の実現をめざす運動である」ことを体して、教区内に基幹運動の推進をより一層展開し、全員聞法・全員伝道を実現すべく、門信徒・僧侶の一人ひとりが伝道教化活動に取り組もう。

4. 研修テーマ

「いのち きびしく あたたかく」
——いのちの尊厳を、御同朋の視点から、そのきびしさとあたたかさとともに学んでいく——

5. 活動

- ④ 「本願寺鷲森別院蓮如上人五百回遠忌法要並びに本願寺鷲森別院再建十周年記念法要」の修行に向け、教区の人々の懇念を結集し円成をめざそう。
- ⑤ 『浄土真宗の葬儀とお仏壇』の

啓発資料をもとに、葬儀にまつわるさまざまな迷信・俗信について学びを深め、それらを打破すべく運動を開催し、浄土真宗の教えにふさわしい葬儀のあり方を広く徹底しよう。

積極的に取り組み、社会的実践活動への参画と地域福祉活動の推進に努めよう。

⑥ 社会福祉活動・ビハーラ活動へ

積極的に取り組み、社会的実践活動への参画と地域福祉活動の推進に努めよう。

6. 具体的活動項目

I 教区基幹運動推進委員会設備規則に基づく、組基幹運動推進委員会の充実をはかる。

II 時代に即応する教学の研鑽と研修会への取り組み

III 御同朋の社会をめざし、同朋婦人の研修⑥青少年の研修

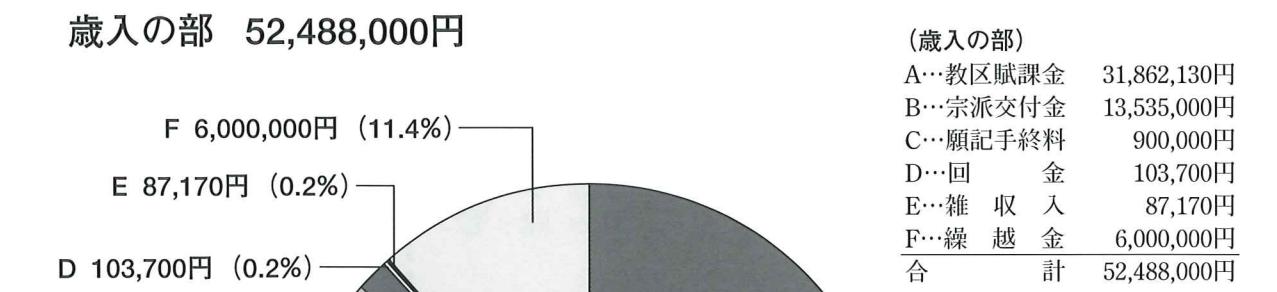
IV 門信徒会運動を推進し、全員聞法・全員伝道を実現すべく門信徒・僧侶の一人ひとりが伝道教化活動に取り組み

V 門信徒会運動を推進し、全員聞法・全員伝道を実現すべく門信徒・僧侶の一人ひとりが伝道教化活動並びに社会福祉活動・組織教化団体の充実発展をめざす。

- ① 門徒総代会の研修②連研のための研修③連研講師研修会④連研修了者研修会⑤連研修了者の中央教育への参加促進⑥門徒推進員連絡協議会の充実・発展⑦教区報の発行
- ① 門徒総代会の研修②連研のための研修③連研講師研修会④連研修了者研修会⑤連研修了者の中央教育への参加促進⑥門徒推進員連絡協議会の充実・発展⑦教区報の発行
- ① 少年連盟②仏教青年連盟③寺族青年連盟④仏教婦人会連盟⑤寺族婦人会連盟⑥仏教壮年会連盟⑦保育連盟⑧スカウト⑨本派社推協和歌山教区支部⑩ビハーラ和歌山
- VI 布教の拡充強化をはかる
- ① 各種研修会における同朋運動の研修②組同朋運動の研修③寺院における同朋運動の取り組み④近畿同朋運動推進協議会（略称・近畿議会（略称・和歌山県同宗連））への積極的参画
- VII 法要儀式・勤式作法の研修

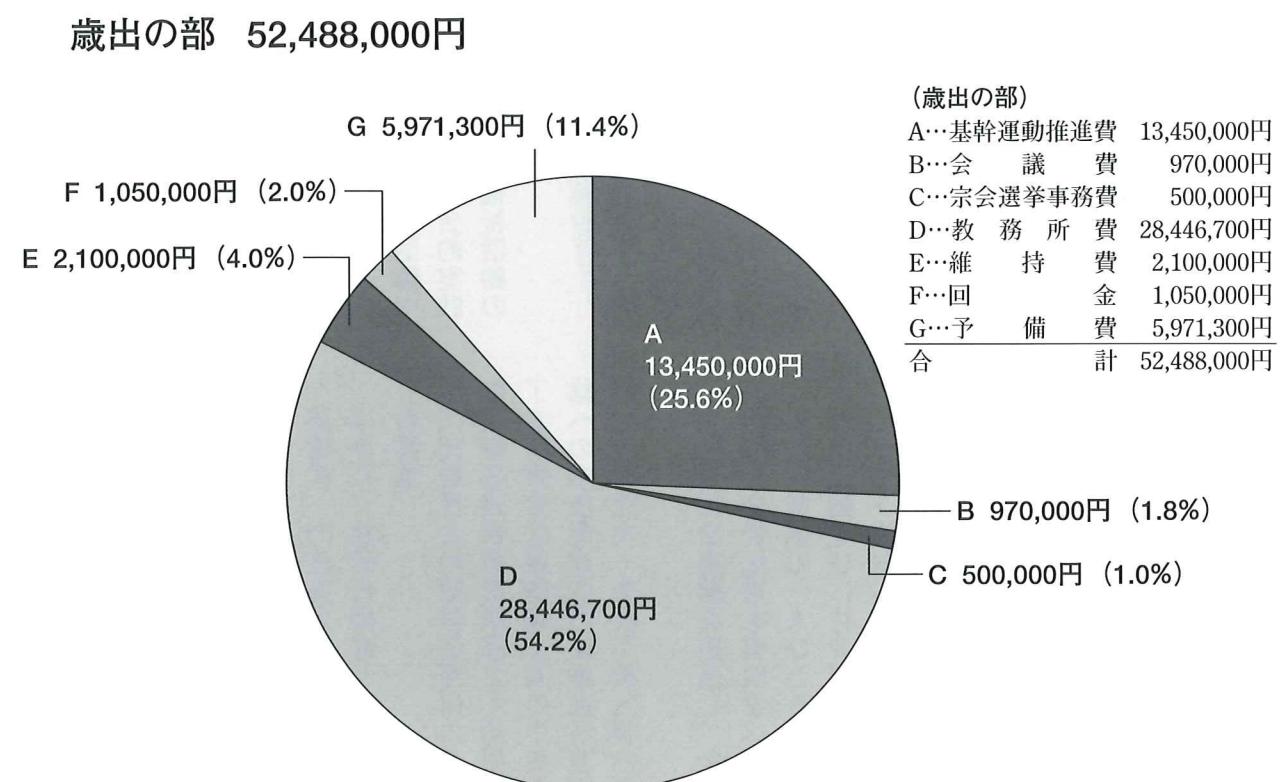
2004 (平成16) 年度和歌山教区一般会計予算

(自: 平成16年4月1日~至: 平成17年3月31日)



(歳入の部)

A…教区賦課金	31,862,130円
B…宗派交付金	13,535,000円
C…願記手終料	900,000円
D…回 金	103,700円
E…雑 収 入	87,170円
F…繰 越 金	6,000,000円
合 計	52,488,000円



(歳出の部)

A…基幹運動推進費	13,450,000円
B…会 議 費	970,000円
C…宗会選挙事務費	500,000円
D…教務所費	28,446,700円
E…維持費	2,100,000円
F…回 金	1,050,000円
G…予 備 費	5,971,300円
合 計	52,488,000円

2004(平成16)年度本願寺鷺森別院一般会計歳計予算

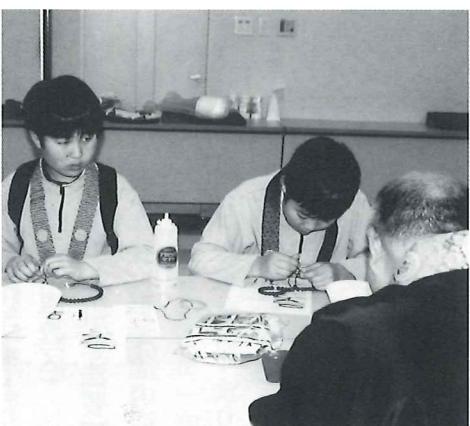
歳 入

款	費 项	平成16年 度予算額	平成15年 度予算額	対比△減
1	懇 志	14,750,000	15,800,000	△1,050,000
2	回 金	15,776,000	14,841,000	935,000
3	本山交付金	30,000	30,000	0
4	維 持 費	550,000	550,000	0
5	負 担 金	1,500,000	1,200,000	300,000
6	雑 収 入	8,500	9,000	△500
7	前年度繰越金	195,500	2,000,000	△1,804,500
	合 計	32,810,000	34,430,000	△1,620,000

歳 出

款	費 项	平成16年 度予算額	平成15年 度予算額	対比△減
1	法 務 費	2,850,000	2,950,000	△100,000
2	教 化 費	1,090,000	1,090,000	0
3	事 務 費	17,503,000	24,013,000	△6,510,000
4	会 議 費	150,000	300,000	△150,000
5	維 持 費	2,422,500	2,832,500	△410,000
6	積 立 金	150,000	1,100,000	△950,000
7	回 金	7,000,000	0	7,000,000
8	予 備 費	1,644,500	2,144,500	△500,000
	合 計	32,810,000	34,430,000	△1,620,000

仏の子ども日校を修了



ご門主さま
有田南・海南組をご巡教

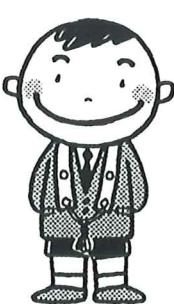
二月三日（火）～五日（木）に

第二十四代即如門主組巡教が実施された。今回は、有田南組と海南組の二組をご巡回。有田南組では行事寺院の称念寺（生田俊示住職）と本勝寺（妻木尚武住職）。海南組では行事寺院の興善寺（近藤信龍住職）、巡回寺院の蓮下義昭（蓮下義昭住職）と安養寺（楠井覺暁住職）をご巡回された。記念式典・法座では、ご門主さまよりのお言葉を頂き、門信徒・僧侶共

にお念佛相続の思いを新たにした。
また、今回の組巡教をもつて和歌山教区内全十四組のご巡教を終えられた。

二月二十八日に鷺森別院で、日校修了者による別院参拝が行われ、平成十五年度をもつて単位日校を修了する子どもたち五人に修了証が授与された。

茶話会では、参加者相互に交流を深め、記念念珠を作るなど、楽しいひとときを過ごした。



法要に向け蓮師を偲ぶ

僧侶研修会が三月二日（火）に鷲森別院で開催された。九十一人が参加した。午前の部の勤式研修会では、梶原教朗師（本願寺式務部会役者）が、先ごろ発刊された「勤式集」について説明。午後の部では「蓮如上人の紀州」蓮如上人からはじまる紀州の浄土真宗「」と題し、金龍靜師（本願寺史料研究所副主幹・龍谷大学文学部非常勤講師）が蓮如上人のご教化からはじまつた紀州真宗興隆について、師の研究成果を踏まえてお話を頂いた。

また、今回の研修会をご縁に、蓮如上人からはじまる、紀州真宗史として一面の「蓮如上人と紀州」と題し、連載頂くことになった。

来たる10月14日
近畿仏婦30回記念大会

五年近畿六教区の仏教婦人会が主催している近畿地区仏教婦人会大会が、今年度和歌山教区の担当で開催される。今回は三十回の記念大会に当たり、十月十四日（木）に和歌山ビックホールを会場に五千人規模の大きな大会を開催する予定。

第3B少年指導者研修会

和歌山で開催

和歌山教区担当で『第3ブロック少年連盟指導者研修会』が来る六月八日（火）、九日（水）の二日間の日程で開催される。

今回の研修会は「いのち」をテーマにして、大谷派より譲西賢先生を講師に、心理学の分野から講演。

別院だより

【常例法座】毎月十五・十六日
午後一時半より
鷲森別院

四月 大竹輝道師（東海教区）
六月 春日憲章師（岐阜教区）

【尊会】
五月十三日（木）～十六日（日）
午後一時半より
春日憲章師（岐阜教区）

五月十八日（火）午前十時より
※五月七日～十二日まで御坊市政

【宗祖降誕会】
六月二十日（日）午後一時半より
春日憲章師（岐阜教区）

【永代経法要】
六月六日（日）午後一時半より
天井絵の展示が行われる。

六月六日（日）午後一時半より

同研修会は「子どもたちに何を教え伝えていくのか」という指導者としての根本的な問題をあらためて再確認し、自己研鑽をしようというのがねらい。また本派とは違った少年連盟への取り組みを聞き、視野を一層広く持つことがでければ、と期待を寄せている。

対象は日校指導者に限らず、どなたでも参加していただけるもの。ぜひともお誘い合わせてご参加ください。詳細は、後日ご案内します。

今年度で、創立五十周年を迎える近畿同朋運動推協議会が、これまでの先達の運動の歩みを振り返ると共に、今後更なる運動推進への決意を新たに、来る十二月三日（金）に「近畿同朋運動推進協議会創立五十周年記念大会」・「近畿同朋運動推進協議会総物故者追悼法要」を本願寺を会場に開催することとなり、事務局を和歌山教区が担当する。

近同推

本願寺で12月3日

50周年記念大会

得度	村山	暢隆	和歌山東組	淨明寺
	辻本	仁好	海南組	寺了寺
	花田	美真	海草組	大教宝
	湯浅		有田南組	妙林寺

教師	北條	裕志	紀南組	妙道寺
	津本	八恵子	御坊組	天性寺
逝去	前坊守		平成16年3月2日	
	楠原	靖惠	日高組	妙願寺
	前坊守		平成16年3月4日	